



幸前 信雄 議員

高浜市長期財政計画の 確認事項と 活用について

問 単年度では、経常収支比率で財政の弾力性がわかるが、市債にならない債務負担等があり、長期の財政状況を管理する指標は。

答 高浜版将来負担比率を作成し、本来の将来負担比率では対象とならない、市役所本庁舎のリース費用について市債同様に負債と認識し、算定を行い、毎年度、監査委員に報告する。

問 新規事業を行うには、新たな財源の捻出のために既存事業の見直しが必要であり、既存事業を見直す時に、個別事業の「見える化」が必要と考えるがいかがか。

答 事業仕分け、行政評価、総合計画の施策評価を行い、「見える化」に努めてきた。昨年度から主要施策成果説明書で、事業目的、成果を織り込んだ記述に変更している。

問 新規事業の目的、到達点、達成時期を明確

にする計画は。

答 庁舎内において、複数の目で実現可能性の有無や無駄の検討は十分に実施しており、主要・新規事業の概要で明確にしている。今後、将来の目指す姿や目標値を設定し、継続して確認できる仕組みを検討したい。

防災訓練について

問 避難訓練で、市民全体で網羅されていない方は。

答 町内会加入者中心の訓練となっており、町内会未加入の方達と、市内にある企業に市外から勤めに来られている方達と考える。

問 行政の役割を考えた時に、残された課題と今後の対応は。

答 多くの市民の皆様にも、訓練に参加いただける方法を地域の意見を参考に改善していく。防災対策に、ゴールや絶対的なプロセスはなく、継続して実施していくことが重要。

問 ある場面を想定した訓練を実施する計画は。

答 災害時対応ゲーム「クロスロード」というものがあり、参加者が議論するプログラムという内容で、活用していきたいと考えている。



小野田 由紀子 議員

学校トイレの 洋式化について

問 昨年の11月に文部科学省が学校トイレの調査結果を発表したが、本市の調査結果について。また、小中学校のトイレの洋式化について、どのような方針で取り組んでいくのか。

答 本市の洋便器率は22.0%、全国平均の43.3%を下回る結果でした。

学校施設の整備は重要な要素を占めており、公共施設推進プランでは、高浜小学校を除き高取小学校、吉浜小学校、高浜中学校、港小学校、翼小学校の順に、学校施設の大規模改修を実施していく予定。

大規模改修の時期までの期間が当分ある学校については、トイレの部分だけ前倒して改修していくことも必要であると考えている。

高取小学校については、来年度実施設計を行っていく予定だが、なるべく多くのトイレを洋式化していきたい。

高浜小学校は建替えに向けて、大便器60基全てを洋便器とする予定。平成32年度頃までに、学校のトイレの洋式化計画を作成していきたい。

小中学校のアレルギー対策について

問 児童生徒の食物アレルギーの実態と対策について、高浜小学校建替え後も対応食の調理ができるよう、給食室の整備を。また、対応食の調理室拡充についての考えは。

答 食物アレルギーの児童生徒は今年度38名と、平成24年度からの2倍に迫る人数。今年度から食物アレルギー対応指針に従って、各校で統一した対応が実施され、安全性が高まっている。高浜小学校の建替えに合わせ、給食調理のアレルギー対応食スペースを現在より広く確保し、設備的にも充実させていく予定。

高浜小学校以外の学校については、トイレの改修と同様に、公共施設推進プランの大規模改修に合わせて給食調理室の見直しを行っていく。

今後の状況によっては、前倒して改修していくことも必要であると考えている。